

平成 15 年 3 月 24 日

報道各位

株式会社 住友倉庫

上海での外資マジョリティー国際フォワーディング企業設立の件

株式会社住友倉庫（社長 安部正一）は、中国における日系荷主の進出ラッシュに伴う物流ニーズの拡大に対応するため、上海市に、外資マジョリティーの国際フォワーディング企業「上海住友国際貨運有限公司」を設立しました。資本金は 200 万ドルで、当社が 70% を出資、上海市対外経済貿易委員会（経貿委）傘下の投資企業である上海外経貿投資（集団）有限公司が 30% を出資します。1 月 10 日に上海市対外経済貿易委員会（経貿委）に申請し、北京の対外貿易経済合作部より会社設立の批准書（認可書）がまもなく交付される予定です。

中国でのフォワーディング事業は、WTO 加盟による規制緩和から、外資出資比率を 75% まで認める（注）『外商投資国際貨物運輸代理企業管理規定』が、本年 1 月 10 日より施行されました。これを受けて上海市経貿委と折衝した結果、外資主導による合弁会社のモデルケース第一号として認可されることとなりました。

新会社は 4 月上旬より、営業開始の予定。董事長、総経理などの経営幹部を派遣し、住友倉庫主導の陸・海・空の国際輸送企業として、日系荷主の物流需要の増大にフォローしていきます。新会社を軸に、上海のみならず、中国各地への分公司（支店）展開も逐次図ってまいります。

また、広範な中国内陸部輸送にも対応するため、従来から提携関係にあった中国の最大手物流業者である大通国際運輸有限公司（本社北京）との関係を、新会社設立を機に、更に深めることに今般合意し、同社が有する 100 ヶ所の支店・配送拠点のネットワーク、約 1500 台のトラックを活用した即納体制を構築していきます。また、華東、華北への大型物流拠点の整備にも同社と協調していく予定です。

一方、当社の上海での物流事業の内、倉庫業については、1993 年（平成 5 年）11 月、浦東新区の外高橋保税區に、上海で最初の外資 100% の倉庫会社、上海住友倉儲有限公司（資本金 130 万ドル）を設立し、現在では従業員 120 名、約 25,000 m² の保税倉庫を保有し、家電製品、電子部品の SCM、VMI 事業などを展開しています。今後は、新会社と上海住友倉儲を一体化させ、フォワーディングと保税倉庫を兼ね備えた上海でも有数の総合物流会社として発展させ、当社の持つ物流ノウハウを新会社に移転し、上海市の物流改革に貢献していきたいと考えています。

当社は上海での新会社設立を契機として、中国での物流事業拡大を一挙にはかってまいります。

（注）従来は外資の出資比率は 49% までしか認められていなかった。

(参考資料)

1 新会社の概要

1. 会社名：上海住倉国際貨運有限公司
(英語名：Shanghai Sumiso International Logistics Co., Ltd.)
2. 本社：上海市静安区
3. 資本金：US\$2,000,000
4. 事業内容：国際フォワーディング業務(国際貨運代理業務)
5. 出資者および出資額
株式会社住友倉庫 US\$1,400,000 (70%)
上海外経貿投資(集団)有限公司 US\$600,000 (30%)
6. 董事会組織：董事長 館賢二、副董事長 董炎、董事 原博

2 中国側出資者の概要

社名	上海外経貿投資(集団)有限公司
設立	1999年7月27日
代表者	朱瑞芬
資本金	282,170千元
従業員数	1,000名(傘下企業を含む)
主要な事業内容	株式投資、資産運用、国内貿易、不動産開発、外商投資プロジェクトのコンサルティング
主要株主と株主構成	国家出資 100%

(注)

上海外経貿投資(集団)有限公司は上海市対外経済貿易委員会により、上海の貿易企業改革の方針に基づき、貿易企業の近代化の促進、対外投資活動の管理強化、発展を調整することを目的として1999年設立された投資管理型の企業で、国有資産の管理運用と傘下企業の経営方針の指導に当たっている。

現在、11社の傘下企業を持ち、その主力業務は輸出入業務である。中核企業としては、上海市外経貿投資開発公司(国際貿易)、上海外経貿発展公司(国際貿易)、上海対外経済貿易工程公司(不動産開発)などがある。最終的には資産経営及び金融投資を主体とする上海対外経済貿易業の専門投資企業集団を目指している。

お問い合わせ先

株式会社住友倉庫 国際業務部

担当者： 中村、野本、嶋崎

電話： (03)3297-2517

ファックス： (03)3297-2533

メール： kokugyo_bx@sumitomo-soko.co.jp

以上